



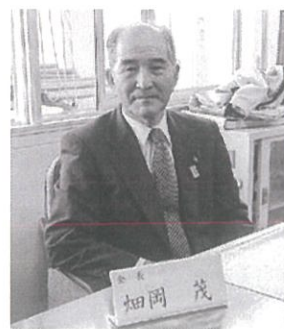
涌谷町

農業委員会だより



でこぎつけました。
ソバは栄養価に富みル
チン、リノール酸、コリ
ン、ビタミンEなどを含
み動脈硬化や脳貧血、胃
潰瘍などに薬効がありま

大石田ソバを
作って食べませんか？
10年前の東日本大震災
の経験から、涌谷町は山
形県大石田町と友好交流
協定を結び今日に至って
います。その一環として、
大石田町の「来迎寺在来
ソバ」の試作を始めたの
は2年前でした。昨年は
面積も増え、まとまった
収量でソバ粉までに加工。
涌谷町職員OBの力も借
りて試食できるところま



農業委員会会長あいさつ

す。ソバのでんぷんは消
化がゆつくりなので、血
糖値が上がりにくいと言
われています。
涌谷町は健康と福祉を
テーマにまちづくりをす
すめて来ています。ハト
ムギなど薬草栽培も行っ
ています。近年作付けが
増加している玄米用種
「金のいぶき」は食べる
薬ともいえます。ソバも
健康食として笹岳丘陵を
もつ涌谷町には、作付適
地がたくさんあると思わ
れます。
真つ白い可憐な花を愛
でて、町内産のソバ粉で
つくったおいしいソバを
食べれば皆さまの健康づ
くりは大いに役立つこと
ではないでしょうか。日
当たりと排水の良好な土
地を好むのが、ソバです。
作ってみたいという際
には、ご一報をお願いいた
します。



農業者年金

～農家の皆さんに
たくさんのメリットがあります～
年金額の試算など農業委員会やお近くのJAにご相談ください

農業者年金に 加入できる人

1

国民年金
第1号被保険者
国民年金保険料納付
免除者を除きます

2

年間60日以上
農業に従事して
いる

3

60歳未満の人

【特徴1】 自らが納めた保険料とその運用収入を基に年金額が決まる積立方式・確定拠出型で、少子高齢化時代に強い年金です。

【特徴2】 一般の預貯金などの利子には20%の税金がかかりますが、農業者年金の運用益は非課税です。その分年金原資が多くなります。

【特徴3】 保険料は月額2万円から6万7千円までの間で自由に決められ、経営の状況や老後設計に応じて、いつでも見直しができます。

【特徴4】 終身年金で、80歳到達前に亡くなられた場合でも、遺族に80歳までの死亡一時金が保証されます。

【特徴5】 支払った保険料全額が社会保険料控除の対象となり、所得税や住民税の節税につながる優遇措置があります。

【特徴6】 認定農業者で青色申告者などの一定要件を満たす人に、月額最高1万円の保険料の補助があります。



農地パトロール(利用状況調査)を実施します

農地利用の困りごとは早めに地域の農業委員や農地利用最適化推進委員に相談してください。

8月25日(水)から9月23日(木)までの期間、町内全域の農地が適切に利用されているかを調査します。

農地パトロールは、①地域の農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用の発生防止・早期発見を目的としています。調査の際は担当の農業委員・農地利用最適化推進委員が農地に立ち入ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。調査後は結果を踏まえて、遊休農地の解消や違反転用の防止に取り組みます。

遊休農地は管理せず放置しておくとは法的措置がとられません(農地法第32条〜44条)

【法的措置の主な流れ】

①農地パトロールで遊休農地などと判断された農地の所有者に対して、今後の意向を調査します。

・自ら耕作する
・農地中間管理機構に貸し付ける など

②6カ月が経過しても本人が①の意向どおりに対応しない場合や①の調査に回答しない場合、農業振興地域内にある遊休農地については、農地中間管理機構と協議するよう勧告します。勧告されると固定資産税の課税が強化される場合があります。③勧告後、2カ月が経過しても協議が整わない場

合、県知事の裁定・公告により、農地中間管理機構が農地中間管理権を取得する場合があります。

農地転用は許可制です

食糧供給の基盤である優良農地の確保のため、農地の転用(宅地や太陽光発電施設用地など耕作以外の目的で利用すること)は許可制です。

許可なく転用した場合や事業計画どおりに転用していない場合は、工事の中止や原状回復などの命令がなされる場合があります。これに従わない場合は、罰則の適用もあります。

【罰則】3年以下の懲役または300万円以下(法人の場合は1億円以下)の罰金



農地中間管理機構を

活用しましょう

農地中間管理事業の仕組み

農地中間管理機構(農地集積バンク)



- ①出し手から農地を借り受け
- ②場合により簡易条件整備などを実施(出し手・受け手の負担を伴います)
- ③受け手(認定農業者など)への農地集積に配慮し貸付

機構から借り受け

受け手(担い手)

市町村が計画を策定し、県が計画を公告。

市町村・農業委員会
JAなどに相談
機構に貸し付け

出し手
(農地所有者)



貸し付けには条件があります。詳しくは、お問い合わせください。

農業委員会だより 編集後記

現在、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいますが、いまだ新型コロナウイルスが収束していない状況にあります。

今日、農業を取りまく状況、特に稲作は米の消費減による米価の下落、人手不足も進んでおりますが、その中でAI解析が本格的に稼働すれば、稲作農業だけでなく、次の時代の農業が進化するのではないかと思います。

町民の皆様にはこれからも農業に対し、少しずつでもわかりやすく紹介していきたいと思っております。

広報部会長

手嶋 一郎

涌谷町農業委員会だより
第22号(令和3年8月発行)

発行：涌谷町農業委員会
〒987-0192
涌谷町字新町裏153-2

☎ 0229-43-2120
ファックス 0229-42-3313



農業委員会からのお知らせ

～こんなときは農業委員会へ！～

- 農地を売りたい、貸したい
 - 農地に建物を建てたい
 - 認定農業者になりたい
 - 耕作のため盛土、切土したい
- などのご相談は、下記の日程で開催している農家相談にお越しください。
なお、農家相談の日程に都合が合わない場合は、農業委員会事務局に相談してください。



農家相談

毎月5日頃に農家相談を開催しています。

- 場所：役場本庁舎1階まちづくり会議室
- 時間：9時～10時30分

- 令和3年8月5日(木)
白幡委員・渋谷委員・日野委員
- 令和3年9月6日(月)
手嶋委員・佐々木委員・及川委員
- 令和3年10月5日(火)
高成委員・湯浅委員・大友委員
- 令和3年11月5日(金)
黒澤委員・白幡委員・渋谷委員
- 令和3年12月6日(月)
日野委員・手嶋委員・佐々木委員
- 令和4年1月5日(水)
及川委員・高成委員・湯浅委員
- 令和4年2月7日(月)
大友委員・黒澤委員・白幡委員
- 令和4年3月7日(月)
渋谷委員・日野委員・手嶋委員



涌谷町賃借料情報

令和2年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10アール当たり)は、次のとおりです。

	締結(公告) された地区名	平均額	最高額	最低額	データ数
田(水稲の部)	西地区	10,900円	16,500円	5,000円	212筆
	東地区	12,900円	20,000円	5,000円	170筆
	籠岳地区	14,400円	20,000円	6,000円	1,054筆
	(参考)涌谷町平均	13,700円	—	—	1,436筆
畑	涌谷町平均	9,200円	15,000円	5,000円	59筆

データ数は集計に用いた筆数です。金額は全筆集計結果を四捨五入し100円単位としています。

黄^{おう}金^{こん}人^{びと}

今号は、農業委員会だより「認定農業者ガンバってますー」との共同掲載です。



株式会社さいとう農場
代表取締役 齋藤 常浩^{つねひろ}さん(写真左上)

緑豊かな大地を創造し 食糧生産の一端を担う

笹岳山麓ののどかな小塚笠石山で、酪農と稲作を営むさいとう農場の代表取締役の齋藤常浩さん。

東京農業大学を卒業後、生産者としての視野を広げるため、飼料を取り扱う民間企業での勤務を経て、地元涌谷町にUターン。就農して14年目を迎える今年、家業のさいとう農場を法人化しました。

「父親が65歳になったことによる経営移譲を念頭に、宮城県美里農業改良普及センターからの勧めと指導もあり、これまで皆さんに慣れ親しんだ『さいとう農場』という屋号を引き継ぎ、法人化しました」。

さいとう農場の経営は、酪農を中心に、水稲も生産し、耕畜連携を行いながらの資源循環型農業です。

酪農部門では、約60頭の乳牛を飼育しながら、受精卵移植技術を取り入れ、和牛の生産にも取り組みつつ、雌のホルスタインを自家繁殖するため、性別別

精液による後継牛の確保にも取り組んでいます。「国産飼料へのこだわりや近年の輸入飼料の高騰対策として飼料用とうもろこしと牧草の二毛作や稲ホールクroppサイレージなどの自給飼料の確保にも一層力をいれています」。この他にも、搾乳作業の補助装置や牛の発情・分娩を監視通報するシステムを導入し、日常作業の省力化にも力を入れています。

また、酪農部門で排出される牛のふんを積極的に堆肥化し、水稲の作付に利用しています。「基本ですが、土が良くないと作物はよく育たないと考えています。そのため土づくりには、化学肥料だけではなく、堆肥を使うことで、地力が上がります。農業には家畜が欠かせない存在です」と力強く話します。

水稲部門では、ひとめぼれ・金のいぶき・みやこがね・まなむすめを栽培。中でも、栽培が難しい金のいぶきは、昨年・一昨年と約9俵を収穫。その収量を支える要素の一つが、自社の堆肥です。「もみ殻を混ぜて発酵を促した堆肥のおかげで、収穫量が多くなると販売先でも

好評です。今年は、堆肥を入れたさくらんぼこども園のじゃがいもが豊作でした」。

堆肥を作る責任と使う責任を全うしながら、使用する農業も環境保全米基準を徹底するさいとう農場のモットーは、「安心・安全・美味・健康・環境・食育」です。

さらに、宮城県美里農業改良普及センターからの推薦を受けて、宮城県農業士会から指導農業士として認定されている常浩さん。約1カ月にわたる泊まり込みでの研修生の受け入れも今年で3年目となります。

「法人設立から半年のため変化は感じられません。日々生き物を扱うため休みはなく、播種・収穫時期は天候との戦いですが、環境を整えていき、金のいぶきの栽培面積拡大と雇用創出ができれば」と目標を掲げます。

屈託のない常浩さんの笑顔のように、大変な肉体労働も楽しめる「楽農」の実現への一歩として、この夏、新たな試みとして飼料用とうもろこしを使った巨大迷路にも挑戦しました。



広報わくや

令和3年8月1日

通算793号

編集・発行
涌谷町 企画財政課 企画班
〒987-0192
宮城県涌谷町大字新町1-1-3 築井

TEL 0229-43-2112
FAX 0229-43-2693
E-mail gr-kikaku@town.wakuyamiryagi.jp
URL http://www.town.wakuyamiryagi.jp

【印刷】